

令和3年度 第5回 稲美町地域公共交通活性化協議会 議事概要

開催日時	令和3年11月12日（金）午後2時00分～午後3時30分
開催場所	コミュニティセンターホール
出席者	委員13名、オブザーバー2名、事務局3名、コンサルタント2名、傍聴1名
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長のあいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> ①稲美町デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」の本格運行について ②稲美町地域公共交通計画（パブリックコメント案）について 4. その他 5. 閉会
議事概要	<p>①稲美町デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」の本格運行について</p> <p>■別添 稲美町デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」社会実験について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員「予約方法について、今回の拡充案では当日の90分前まで受付できるようになっているが、具体的な運用はどのように考えているか。」 ・事務局「当日の運行90分前まで電話予約を受け付けた後に手動で運行ルートを作成し、運転手に連絡する案を検討している。」 ・議長「受付時間が運行当日の90分前までに拡充されるが、運行事業者であるルミナスタクシーとして対応は可能か。」 ・委員「これまでの運行実績から対応可能と考えている。運行日当日に明石のコールセンターで作成したルートを、タクシーの通信機能を使い各車にデータで送ることを検討している。当日予約の要望が多いことは承知しており、利用者の要望に応えたい。」 ・議長「今回の拡充案では、4便から6便に増便、介添人の運賃も半額になっている。1便あたりの平均乗車人数は2.3人で利用状況は問題ないが、1便あたりの運行経費はどれくらいか。協議会としては経費を踏まえて判断する必要がある。」 ・事務局「社会実験期間中の運行経費は1乗車あたり4,500円程度であるが、初期導入費用を含めた金額であるため、今後はもう少し抑えられる。」 ・議長「高齢者の移動に及ぼす影響なども考慮し、引き続き評価が必要である。」 ・オブザーバー「6月は利用者数が多いものの平均乗車人数が少ないのはなぜか。」

- ・事務局「利用者が増えたことで目的地が多方面になり、車の稼働台数が増えたことが要因と考えられる。」
- ・オブザーバー「バスの場合、雨天では自転車等の利用者が公共交通を利用するため、一般的に利用者が多くなる傾向にある。」
- ・議長「乗合率が低いということは稼働を良くしていると考えられることもできる。運行状況の把握は必要だが、平均乗車人数は2人以上を確保できているため、デマンド交通であることを考えると現行の運行でよいのではないか。」
- ・議長「令和4年4月1日からのあいのりいなみの本格運行について、承認の方は拍手をお願いします。」

一同拍手

- ・議長「賛成多数のため承認されたものとする。」

②稲美町地域公共交通計画（パブリックコメント案）について

■別添 稲美町地域公共交通計画（パブリックコメント案）について
説明

- ・議長「支線交通を検討するエリアの移動にはどのような特徴があるか。」
- ・事務局「東加古川駅までの移動は、通勤では送迎を含めて7割以上が車を利用しており、自転車やバイクの利用も2割程度ある。買物や通院ではタクシーの利用が多い。」
- ・議長「地理的に平らで各自が個別の移動手段を利用しやすい状況であり、その点を踏まえた支線交通の検討が必要である。」
- ・議長「子育て世帯が多い地区の通学や高齢者の移動など、今後予想される新たな移動需要についてどのように対応するのか。」
- ・事務局「支線交通検討エリアの菊徳地区・加古地域では、宅地開発・住宅地の区画整理により、人口の増加や加古川・神戸方面への通学が増えると思われる。」
- ・事務局「10年後には稲美町の高齢化率も40%を超える見込みであり、支線交通については今後の需要に応じて検討していきたい。」
- ・委員「あいのりいなみが運行しているため、『公共交通空白地』は存在しないのではないか。計画書内の『公共交通空白地』という表現を『公共交通不便地』に変更してはどうか。」
- ・事務局「路線バスが利用しづらいという意味で、関連する箇所を『公共交通不便地』に修正する。」
- ・議長「本計画では、幹線交通である路線バスを維持しながら、地域内交通としてのデマンド交通を運行することで、公共交通不便地の解消を目指し、人口増加や高齢化等による新たな移動需要につ

	<p>いても継続的に検討することになる。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長「他に意見はあるか。」 <p style="text-align: center;">—同意見無し</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局「本日の協議会で地域公共交通計画の確認が得られたため、計画書内の「検討中」の表記を削除し、12/14～1/12 にパブリックコメントを実施する。その結果を反映した最終（案）を持って、令和4年2月頃に最終の協議会を開催したいと考えている。」 ・事務局「あいのりいなみについては、今後、国への申請を行い、令和4年3月に町の議会で予算が通れば4月から本格運行を開始する見込みである。」 ・議長「各事業者・行政からの報告や連絡は何かないか。」 ・オブザーバー「路線バスの利用状況は、ICカードの利用データからコロナ禍以前の80%程度まで回復している。高速バスも満席の便があることなどもあり、今後の回復に期待している。」 ・委員「タクシーの乗客数もコロナ禍以前の80%程度まで回復しているが、深夜帯の利用は依然として少ないままである。」 ・委員「国土交通省がタクシーの『相乗りサービス』制度を11/1から導入している。配車アプリで目的地が近い乗客同士を運行開始前にマッチングして相乗りさせるサービスで、あいのりいなみと運用が似ているが、『事前確定運賃の認可』が必要である。アプリ自体の整備に時間がかかるため、実際に運用されるのは2～3ヶ月後になると思われる。」 ・オブザーバー「県の取組みとして公共交通事業者への運行支援補助事業を行っている。タクシー事業者向けに、タクシー協会を通じて車両台数×7,000円の補助金を予定しているため、是非活用して欲しい。」 ・委員「貸切バスは、ツアーバスなどの個人旅行需要が増えつつあるが、学校行事や団体旅行の需要は低いままである。コロナ対策ではないが、県独自の制度として『県民交流バス』（があるため、是非活用して欲しい。」 ・委員「信号のない横断歩道での歩行者横断時の自動車の停止率が、昨年よりも大幅に低下している。事故防止のために気を付けていただきたい。」
閉会	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長「公共交通計画がいよいよ大詰めになってきた。また、あいのりいなみについても本格運行が決まった。社会実験中の声として、あいのりいなみに車両が割かれることで、タクシーの利用ができなかったという声を聞いた。同様の事例がこれまでに何回あったか検証し、本格運行につなげて欲しい。」